

女性キャラバン2024出発！

松下玲子総支部長も冒頭で街頭演説を行う！



立憲民主党ジェンダー平等推進本部は7月8日、都内で「全国女性キャラバン2024 出発式」街頭演説会を開催しました。

このキャラバンは、国会議員の女性比率が16%、ジェンダーギャップ指数ランキングが世界で118位というわが国の現状を深刻に受け止め、「女性の声が政治を変える」のスローガンのもと女性議員拡大の意義を全国でアピールし、国政選挙にチャレンジする女性予定候補者を党をあげて応援することを目的としており、昨年に引き続き第2弾としてスタートしました。

(立憲民主党HPより)

松下玲子も熱い思いを訴えました。(下段中央 松下玲子)



←当日のYoutube動画はこちらからご覧頂けます、松下玲子の演説は22分ごろからです。

ジェンダー平等推進本部会議で発言する松下玲子



松下玲子は2024年7月11日(木)立憲民主党本部にて開催されました、ジェンダー平等推進本部会議に出席し、選択的夫婦別姓制度導入に関する提言について経団連のヒアリングを行いました。

武蔵野市長時代に開始した武蔵野市パートナーシップ制度では同性婚だけではなく事実婚も含めたこと、実際の利用者は事実婚の方が多かったことをお話しました。(編集部)



松下玲子 プロフィール

1970年生まれ。実践女子大学文学部卒業後、サッポロビール入社。2004年早稲田大学大学院経済学研究科修了。松下政経塾での研修を経て、2005年・2009年武蔵野市選挙区で都議会議員選挙に当選。2017年市民の要請により武蔵野市長選に立候補して当選、2021年に再選。2023年11月末退任。現在、立憲民主党東京都第18総支部長。趣味は美術・演劇・落語鑑賞。家族は夫と子ども。

LINE友だち募集中

日々の活動報告や、イベントの告知を配信しています

※通知はコチラから

